

図書館においてある本の中から
おすすめのものを選びました。
バラエティに富んだ本を紹介します。

しあわせのドクターイエロー

溝口イタル え

町立 鷹巣図書館

TEL0996-86-1111



黄色い新幹線「ドクターイエロー」。なにをしているの？どこに行ったら会えるの？

最後のプレイボール

岩崎 夏海 監修



高校野球の雑誌記者や編集者が取材で集めた青春ストーリーです。

町立 指江図書館

TEL0996-88-6500

Pick Up publication

長島文芸

Nagashima Bungo
ながしまぶんげい

明神俳句会

雲灼けて野に残されし特攻碑
夏座布団万歳ボーズの嬰眠る
日向葵や夕陽が匂ふ島暮し
夏野原八千余枚の陽をためて
台風圏海鮮カレー煮込みをり
万緑や旅のはじめの奈良郡
母の忌や梅雨寒と言ふ日の巡り
からかぶを骨ごと切つて舟料理
山里に河鹿の鳴ける夜明かな

淵脇 護
関 佳代美
山寄加代子
筑前 初市
二階堂妙子
追口 君代
大堂 早苗
大堂 正弘
二階堂恵子

長島短歌会

庭木々の剪定終へて明るみぬ心穏しく盆を迎へん
夕暮のチャイムの音に海ながめ母呼ぶ我は八十六才
庭に立ち空見上げ居り陽が照りつつまたも降る雨
盆も過ぎしに
雷雨去り朝の雲間に射す光見上げて立てば温き風吹く
老の夢に出でくるものは幼友覚めて悲しくまた懐かしき
幼き日台風去りて藁屋根に開きたる星空蚊帳より見をり
か細かる息子も混じり場所変へつ鉦つき飛び跳ぬ八月八日
わが嫁の母の新盆に額づきぬ昼の墓所に灯る灯明
雨しげく轟音とどろく雷鳴は屈むわが身を突き上

松元 睦子
吉田 映子
市尾 操
岩下 ち江
岩下 房代
樫平 頼子
米尾 和子
坂之下典子

創生短歌会

ぐるごとし
踊り場の向ふの木群風に揺れ芝生に映ゆる児等の白足袋
蝙蝠の棲む洞穴に蓬焚き蚊を追ひ空襲に耐へし若き日

中山タマエ
浜畑 松枝
本田 幸子

一般作品

切れ味の悪くなりたる刃先折りカッターナイフの再生をする
耐えられない軽さのありて国民を守ると云えり総理の言葉
飽食を制限さるる身となりて見えて来たりぬ余刺のものが
あらためて今日は暑いと呟けばいつものことと蟬は高鳴く
車椅子の脚ともなりしスロープが取りはずされて役目を終る
息かけて息かけ磨くガラス窓夫の年忌の近ずきくれば
人生を振り返りみる午前二時このまま行くしかない三時四時

竹之内重信
宮元 司
村上 義信
山下 学
大塚 洋子
石原百合子
野村 益信

「短歌」

亡き母の名前のついた風呂敷を買物袋もたずに便利
勇ましき名の運転手逝くを知るあの頃のバス鼻が長かった
期待なる話し合手の愛の友長生してよ生甲斐なるや

中仮屋辰子
平木 良雄
町田 末則

「俳句」
窓開くれば夏コホロギの闇に鳴く
宗方 清明